

2026年3月17日

各 位

会社名 日本曹達株式会社
代表者名 代表取締役社長 阿賀 英司
(コード番号 4041 東証プライム)
問合せ先 総務部長 片岸 豊信
(TEL 03-6366-1920)

経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を更新しました ー日本曹達 DX ビジョン「デジタルで、かがやく。」による変革を推進ー

当社は、経済産業省が定める「DX（デジタルトランスフォーメーション）認定制度」に基づき、2026年3月1日に「DX認定事業者」の認定を更新いたしましたので、お知らせいたします（初回更新）。



「DX認定制度」とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づく認定制度です。デジタル技術による社会変革を踏まえて経営者に求められる対応をまとめた「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応し、DX推進の準備が整っていると認められる企業を国が認定する制度です。

当社はDXビジョン「デジタルで、かがやく。」のもと、生産改革・研究改革・業務改革の3本柱に基づくDX施策を推進してまいりました。各分野において、デジタルツインの導入やAI・データ駆動型研究開発、ERP刷新などの施策を進めており、2025年度からは生成AI推進を全社施策として位置づけ、AI活用を前提としたデジタル技術の活用環境を統合的に整備しています。

こうした取り組みの結果、経済産業省令の定める認定基準を満たしていること、ステークホルダーの皆様への適切な情報開示をしていることなどが改めて評価され、更新認定の取得に至りました。

当社は、今後もDXによる高効率な事業構造への変革を推し進め、社会により高い価値を提供できる会社となるよう、積極的に取り組んでまいります。

日本曹達 DX ビジョン「デジタルで、かがやく。」

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」における、2030年にありたい姿を実現するための主要課題である「高効率な事業構造への変革」を達成するために、デジタル化を推進しDXを実現するための戦略として日本曹達 DX ビジョン「デジタルで、かがやく。」を策定しました。

デジタル化およびDX施策を生産改革・研究改革・業務改革の3つにグルーピングし、DX戦略の3本柱として各施策を複合的に推進、実施しています。2025年度からはDXビジョンをアップデートし、AI活用を前提としたデジタル技術の活用環境の統合的整備を推進しています。

これらの取り組みにより、日本曹達グループ長期ビジョンの達成と、ありたい姿の実現を目指します。

(ご参考) 当社ウェブサイト：[日本曹達 DX ビジョン「デジタルで、かがやく。」](#)